



大阪国道2号淀川大橋 ガードレール自在R連続基礎

阪神間の主要道路の要 淀川大橋

1926年(大正15年)に建設された国道2号淀川大橋の床版取替工事に伴う、ガードレール基礎ブロックの設置工事。

安全に橋梁を通行して頂くために、**ガードレール自在R連続基礎**を採用いただきました。

歩行者の安全確保に全力で貢献いたします。



国道2号淀川大橋

■土木



webカタログもご覧下さい





大阪国道2号淀川大橋 ガードレール自在R連続基礎



ガードレール自在R連続基礎の施工

- 連続した基礎として衝突に対して抵抗するため安全性が高くなります。
- 設置間隔が決まっているため施工が容易です。
- 丸みを帯びた端部形状によりカーブ施工が容易に行えます。



ベースプレート工法により
設置時間を大幅短縮！



現場住所	大阪市福島区海老江地先～大阪市西淀川区野里地先
施主名	近畿地方整備局 大阪国道事務所
竣工年月	2017年8月6日～2020年2月

納入製品	自在R連続基礎 B型	ベースプレートタイプ
数量	B型基本 692本	基本1m 8本
	端部AN 12本	端部BN 12本
	両端部A 162本	両端部B 162本